

の動向についてでは「社長就任直後にローバルでは自動生。創業以来の経営危かしは、日本機に見舞われた。そこ益率14.5%を見込む。で考えたいのは、危機を上期は14.4%で5月エンジンの海外チャンスにするという予想を上回ったが、下は今後も着実に進期は5月予想を変えず、14.6%の見通し

「ガス」コ事業者による買いたたはそこまで手が回ら幅に上昇。副きや減額は下請代金法ない。人材育成、人材員、人件費などで禁止行為として規定の確保で手がいっぱいかりして「いざというときだ。鉄鋼加工業は3K1年間のCHのだ。昨今のコスト増業種であり、今後ますます上昇分はとももちろんだが、超円ます新規採用が難しく4千円と試算高時のコスト圧縮要請なると思している」

「経産省」集購価格の下げにの要請は伴って、自給材価格の「原材料・下げ要求が出てきていエネルギー。我々二次加工メーカーコストの増カーとしては加工賃値の一貫生産および、も加が中小企上げを要求しており、のづくりへのこだわり業・小規模今のところは押し問答が強みで、蓄積したノ事業者の収の状態が続いている」ウハウが財産だ。お客圧迫している「グローバル化へさんにとり、使い勝手心。振興基準の対応はどつですかの良さが社内内で分か小企業の適正?」他社との違いはそ

「大手はともかく、ういったところだと思

藤井康雄氏)は14日、本社の勤務者を対象に災害に備えた「徒歩帰



ゼコ 屋根・壁「換気研究会」発足

ハウゼコ 住宅の耐久性向上など啓蒙

換気部材メーカーのハウゼコ(本社・大阪市中央区、社長・神戸陸史氏)は11月13日付で「一般社団法人住まの屋根換気壁通気研究会」を立ち上げた。第36回ジャパンホームショーの開催会場(東京ビッグサイト東ホール)で同研究会の発足について披露した。活動目的は「換気・通気による住宅外皮の耐久性向上に関する研究、およびその推進のため

の会員と学識経験者・会員相互の交流」。理事長には神戸ハウゼコ社長が就いた。その他の役員では特別顧問に坂本雄三建築研究所理事長東京大学名誉教授、顧問に石川廣三東海大学名誉教授、顧問に岩前篤近畿大学建築学部長教授、専務理事に松尾和也松尾設計室代表取締役がそれぞれ就いた。

住宅外皮に小屋裏換気や外壁に通気層を確保することは知られている。「ただ、さまざまな要因で発生する結露や腐食をすべて解決できてはいない。研究会ではこれらの問題を解決し、研修などを通じて普及啓蒙活動などを行っていききたい」(神戸理事長)。

研究会発足を披露、右から2人目が神戸社長



部で決定するとしている。個人、法人、特別会員(役員会で認められた団体・個人)で構成する。

個人、法人、特別会員(役員会で認められた団体・個人)で構成する。



「材料と環境 討論会」開催

鳥取県で、26日から腐食防食学会(会長・丸山俊夫東京工業大学副学長)は、26日から28日の3日間、鳥取県米子市の米子ビッグシップで、企業や大学の研究者が腐食防食関連の研究発表を披露する「第61回材料と環境討論会」を開催する。3日間で1500件を

インドの難しさ  
▽10月に自動車部品工業会の視察団で訪れたプレス工業を副団長としてインドを訪れたプレス工業の角堂博茂社長。同社は海外新工場の候補地の一つとしてインドを調査しているのは難しい。が「結論を出すには時間がかりそう」

遊歩道



と話す。

▽プレス工業はトラック部品が主力製品の一つだが、インのトラック市場は、日本メーカーに比べて価格は安い。「ユーザーさん曰く、トラックは安さ、現に向け、じっくりが最優先で、日系の見極めていく考え

結果などを発表する。開催地の山陰地方にゆかりの深いたたら製鉄についての特別講演も行われる。同学会では300人以上の参加を見込んで